



2022年11月4日

各 位

会社名 兼 松 株 式 会 社
代表者 代表取締役社長 宮部 佳也
(コード番号 8020 東証プライム)
問合せ先 広報・IR室長 坂本 和美
(電話番号 03-5440-8000)

剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月4日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当および2023年3月期の期末配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決定事項	直近予想 (2022年5月10日公表)	前年同期実績 (2022年3月期)
基 準 日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	37円50銭	35円00銭	30円00銭
配 当 金 総 額	3,158百万円	—	2,527百万円
効 力 発 生 日	2022年12月6日	—	2021年12月3日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	35円00銭	35円00銭	70円00銭
今 回 修 正 予 想	35円00銭	37円50銭	75円00銭
当 期 実 績	37円50銭	35円00銭	70円00銭
前 期 実 績 (2022年3月期)	30円00銭	35円00銭	65円00銭

3. 理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、将来の成長投資のための適正な内部留保とのバランスを考慮しながら、業績に裏付けられた利益配分を行うことを基本と考えております。中期ビジョン「future 135」の配当性向(総還元性向)は30~35%を目標とし、引き続き安定的かつ継続的な実施を目指しております。

当期につきましては、足元の業績が順調に進捗しているため、本日公表いたしました業績予想の上方修正を踏まえ、中間配当を前回予想より2円50銭増額し、37円50銭とすることといたしました。期末配当(予想)についても、前回予想より2円50銭増額し、37円50銭に修正することといたしました。

これにより、年間配当金は、1株当たり75円となる予定であり、また配当性向は33.0%となる見込みです。

以 上